

LIXIL ヴェール ファンクションユニット (ワイド用) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
 - ・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
<推奨トルク>φ4ネジ、M4ネジ：2.0N・m±0.5N・m(25±5kg・cm)



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 製品破損等による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。強度低下の原因になります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。強度低下またはケガの原因になります。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。強度低下またはケガの原因になります。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 製品破損等による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決められていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。

🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭取ってください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。故障や漏電した場合に感電するおそれがあります。

🔑 ポイント

- LEDユニットを取付ける場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとお手入れの際、夜間照明を消したい場合に電源をOFFにできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
- 消灯タイマー付EEスイッチと手動「入切スイッチ」を併用する場合は、EEスイッチに付属の説明書に従って使用可能な「入切スイッチ」を選択してください。
- AC100Vの照明器具は、D種接地工事を行なってください。
- 照明用配線と信号線は電線管により隔離してください。
- 照明用配線にはVVFF ϕ 1.6または ϕ 2.0の3芯単線（アース線を含む）を、インターホン子機用信号はVCTF0.75mm²のより線または ϕ 1.0単線2芯を、準備してください。
- 機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。
- インターホン用配線に使用するY端子は、1.25-3を別途準備してください。

■梱包明細表

【1】柱セット

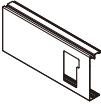
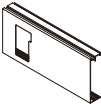

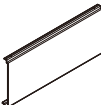
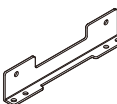

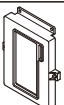





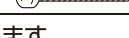
名 称	略 図	員 数				
		両柱セット	吊元門柱(左)	吊元門柱(右)	受け門柱(左)	受け門柱(右)
ポールR(ワイド用)		1	—	1	—	1
ポールL(ワイド用)		1	1	—	1	—
ヴェール吊元門柱R		—	1	—	—	—
ヴェール吊元門柱L		—	—	1	—	—
ヴェール受け門柱R		—	—	—	1	—
ヴェール受け門柱L		—	—	—	—	1
AMB75角吊元門柱(ヴェール用)		—	1	1	1	1
キャップ		1	—	—	—	—
門柱用キャップ		—	1	1	1	1
端部キャップR		1	—	1	—	1
端部キャップL		1	1	—	1	—
端部キャップR(門柱用)		—	1	—	1	—
端部キャップL(門柱用)		—	—	1	—	1
【1-1】φ4×20 トラス小ネジ(D=8)		8(※)	8(※)	8(※)	8(※)	8(※)
【1-2】M4用ターンナット		4	4	4	4	4
【1-3】φ4×6 ナベタッピンネジ3種(D=7)		2	2	2	2	2
【1-4】φ4×10 特サラタッピンネジ3種(D=6)		4(※)	4(※)	4(※)	4(※)	4(※)
取付説明書〈A562〉	—	1	1	1	1	1
取扱説明書〈UA201〉	—	1	1	1	1	1

※【1-1】は白色が4本、ブロンズ色が4本入っています。
 ※【1-4】は白色が2本、ブロンズ色が2本入っています。

A562_201301A

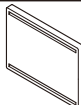
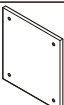



■ 梱包明細表 (つづき)

【2】 センターブロック

名 称	略 図	員 数		
		インターホン内蔵用(右)	インターホン内蔵用(左)	インターホン面付用
フロントパネル IH加工あり(右)		1	—	—
フロントパネル IH加工あり(左)		—	1	—
フロントパネル 加工なし		—	—	1
バックパネル		1	1	1
連結金具A		2	2	2
連結金具B		2	2	2
テレビドアホンパネル		1	1	—
テレビドアホン固定金具		1	1	—
【2-1】φ4×8 トラストッピンネジ3種(D=8)		12	12	10
【2-2】φ4×13 ナベドリルネジ		4(※)	4(※)	4(※)
【2-3】M4×30 ナベ小ネジ(D=7)		2	2	—
【2-4】M4用ナット(2種)		2	2	—
【2-5】M4×25 ナベ小ネジ(D=7)		2	2	—

※【2-2】は白色が2本、ブロンズ色が2本入っています。

【3】 鋳物サイン・ステンレスサイン

名 称	略 図	員 数			
		鋳物サイン		ステンレスサイン	
		ネームシールタイプ	特注タイプ	ネームシールタイプ	特注タイプ
鋳物サイン		1	1	—	—
ステンレスサイン		—	—	1	1
ネームシール		1	—	1	—
【3-1】φ4×6 トラストッピンネジ3種(D=8)		2	2	—	—
【3-2】M4用六角ナット		—	—	4	4

■梱包明細表

【4】江戸硝子サイン・備前焼サイン

名 称	略 図	員 数	
		江戸硝子サイン	備前焼サイン
江戸硝子サイン 150角		1	-
備前焼サイン 145角		-	1
【4-1】化粧ネジ M6用		4	-
【4-2】M6高ナット L=15		4	-
【4-3】M6ゴムワッシャー		4	-
【4-4】M6全ネジ L=40		4	-
【4-5】M6六角ナット		4	-
【4-6】化粧ネジ M4用		-	4
【4-7】M4全ネジ L=25		-	4
【4-8】M4六角ナット		-	4

【5】SUS切り文字バーサイン

オプション

名 称	略 図	員 数
SUS切り文字サイン		1
【5-1】化粧ネジ		2
【5-2】φ4×16ナベ小ネジ (D=7)(SW+PW)		2
【5-3】φ4×20ナベ小ネジ (D=7)(SW+PW)		2(※)
【5-4】SUSスペーサー		2
【5-5】シリコンワッシャー		2
【5-6】M4平座金		4

※【5-3】は使用しません。

【6】SUS抜き文字バーサイン

オプション

名 称	略 図	員 数
SUS抜き文字サイン		1
【6-1】M4ナット		2
【6-2】M5ナット		2
【6-3】シリコンワッシャー		2

【7】SUS切り文字ベースサイン

オプション

名 称	略 図	員 数
ソリッドベース用切り文字サイン		1
サイン取付台座		1
サイン取付金具		1

【7】SUS切り文字ベースサイン(つづき)

オプション

名 称	略 図	員 数
【7-1】M4×16ナベ小ネジ(D=7)		2
【7-2】φ4×10トラス小ネジ(D=8)		2
【7-3】M4×35止めネジ		2(※)
取付説明書(A562)	-	1

※【7-3】は使用しません。

【8】横長ガラスサイン

オプション

名 称	略 図	員 数	
		ネームシール	特注
横長ガラスサイン		1	1
ネームシール		2(※)	-
【8-1】化粧ネジ M4用		2	2
【8-2】M4×40十字穴付六角ボルト(SW+PW)		2	2
【8-3】M4丸ナット L=20		2	2
【8-4】M4ゴムワッシャー		4	4

※黒文字と白文字の2種類同梱しています。

【9】アンダーパネル

オプション

名 称	略 図	員 数		
		パンチング	ポリカ	鋳物
アンダーパネル(パンチング)		1	-	-
アンダーパネル(ポリカ)		-	1	-
アンダーパネル(鋳物)		-	-	1
鋳物パネル取付金具		-	-	4
【9-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種(D=8)		-	-	8
【9-2】M4用 平座金		-	-	4

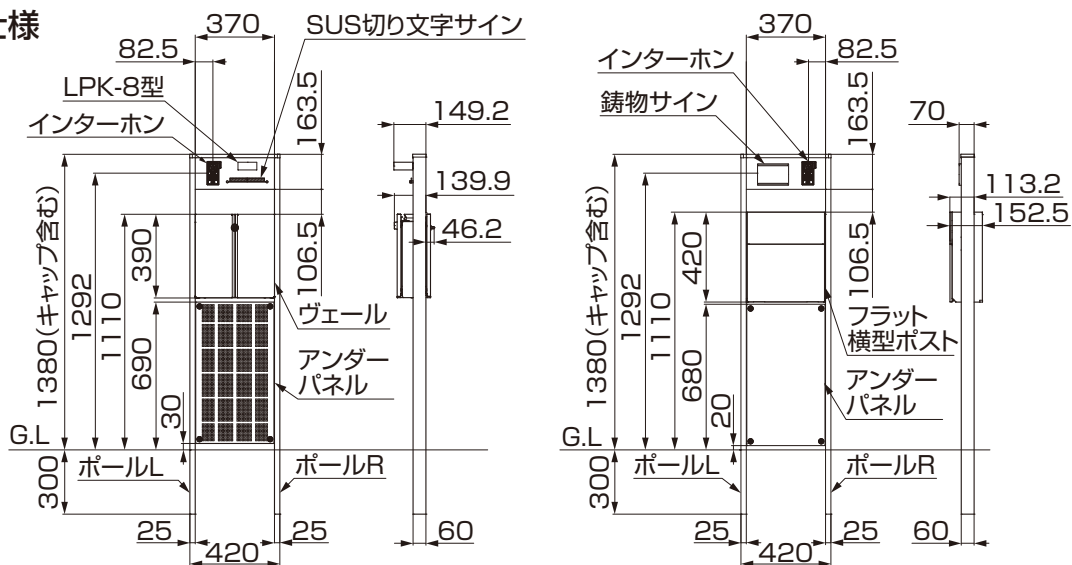
【10】アンダーパネル取付部品

オプション

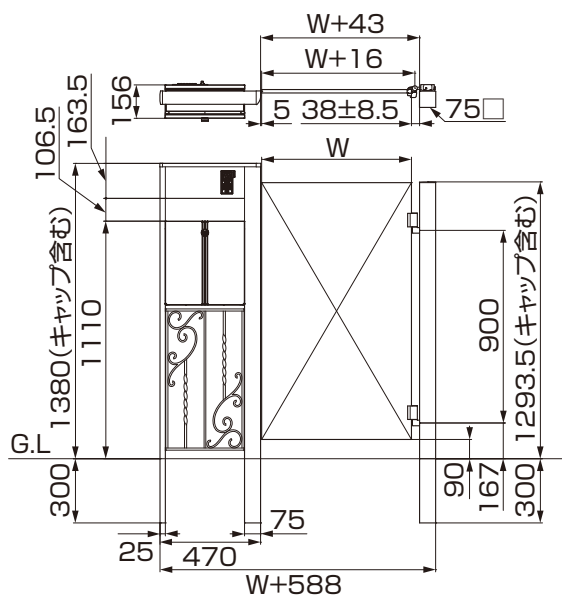
名 称	略 図	員 数
パネル取付部品		4
ネジ取付ベース		4
パネル留めナット		4
【10-1】φ4×40サラタッピンネジ3種		4
【10-2】M4×16サラ小ネジ		4

1. 各部の名称および基本寸法図

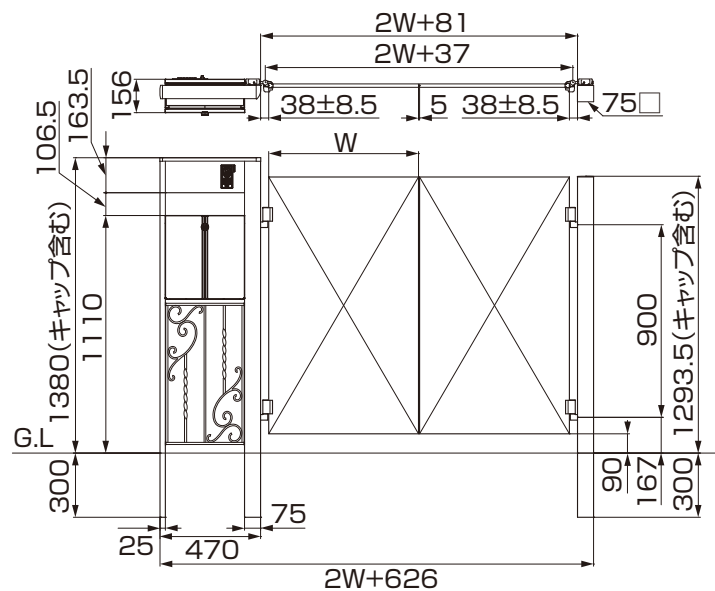
1-1 単独仕様



1-2 門柱仕様 片開き 受け門柱(左)



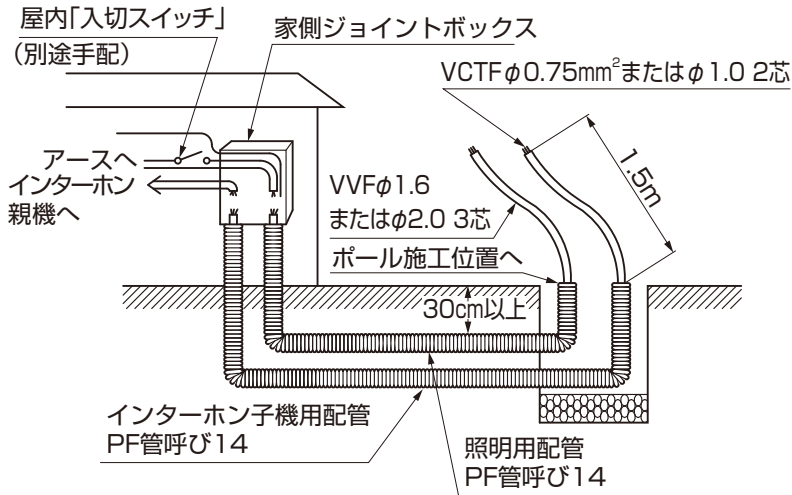
1-3 門柱仕様 両開き 吊元門柱(左)



2. 基礎工事と配線

※配線工事は照明・インターホンを取付ける場合の加工です。

2-1 屋外配線工事

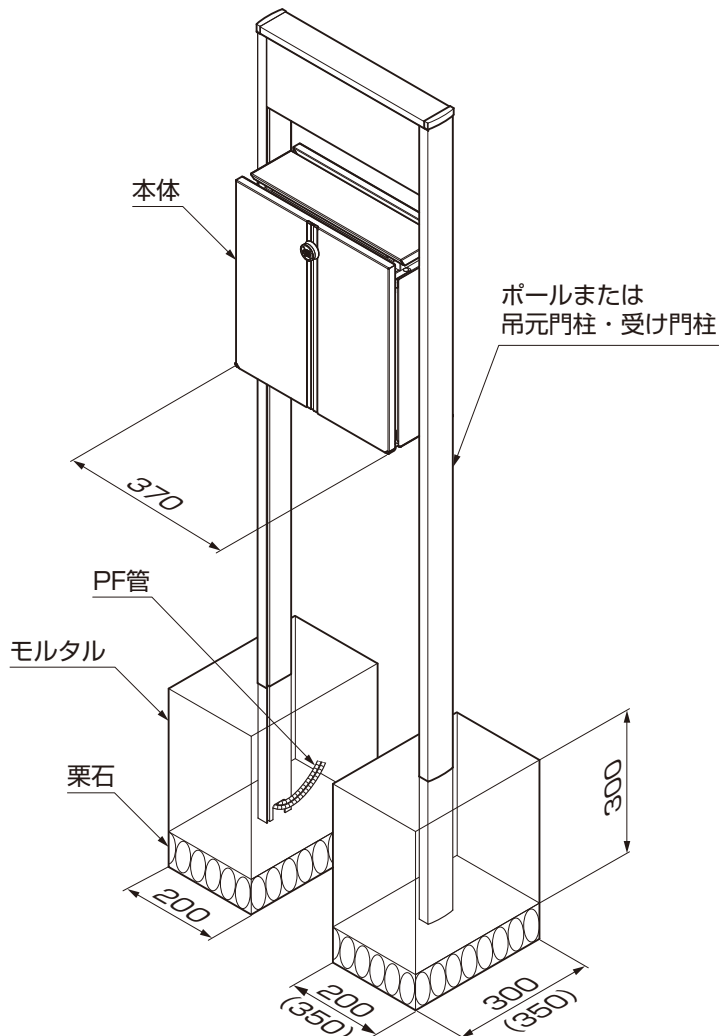


- ①基礎穴を掘り、栗石を敷いてください。
- ②照明およびインターホン子機用の配線配管をしてください。

ポイント

- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできなくなります。

2-2 基礎工事



ポイント

- 照明またはインターホン用の配管、配線は、ポール内に納めてください。
- モルタルが固まるまでカイモノをして、支柱が動かないようにしてください。
- 養生中は支柱内部に雨水などが入らないようにしてください。

- ①本体を垂直に立て、ポール側面のG.L.ラインまでモルタルで埋めてください。

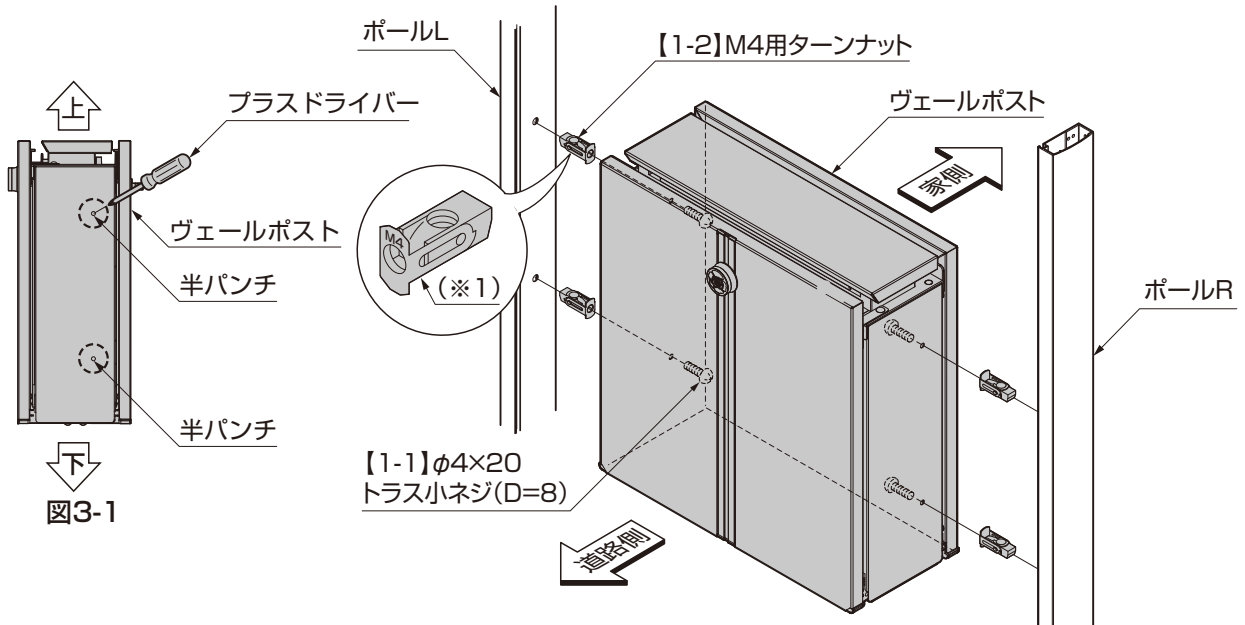
ポイント

- ()寸法は門柱仕様の際の吊元門柱・受け門柱の埋め込み寸法になります。

3. ポストの取付け

補足

- アンダーパネルを取付ける場合、ポスト取付の前に「9.アンダーパネルの取付け」を参照し取付穴を開けてください。



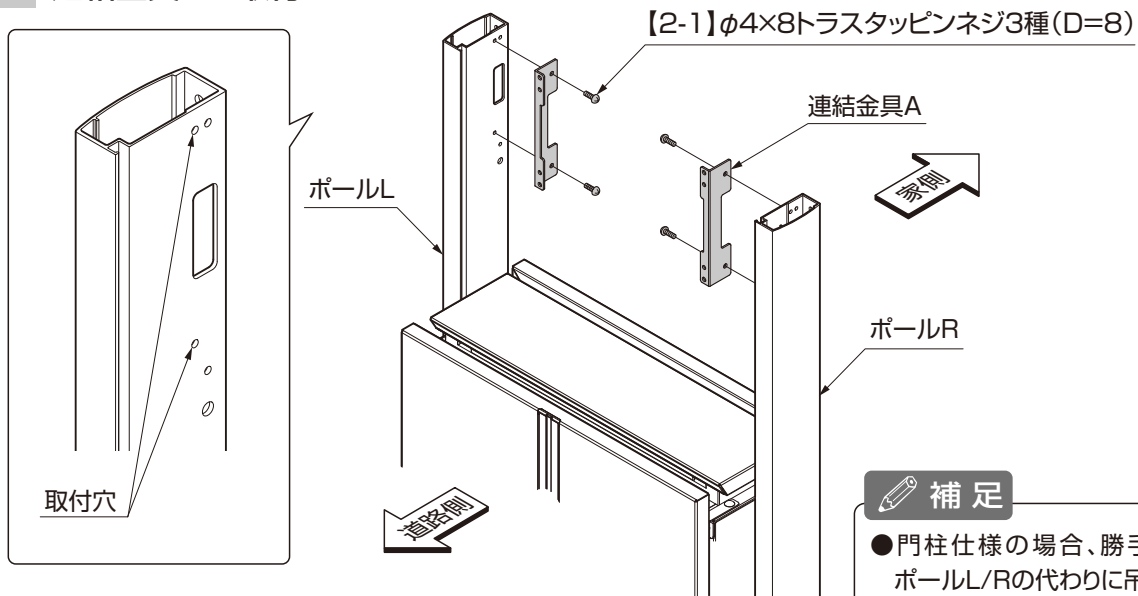
- ①ポスト本体の側面4ヶ所の半パンチにプラスドライバーをあてハンマーなどでたたいて、穴を開けてください。(図3-1参照)
- ②ポスト本体を【1-1】、【1-2】を使用して取付けてください。

補足

- ポスト扉の開閉については使用するポストに付属の取付・取扱説明書を参照してください。
- ターンナット(※1)を差込むときは、「M4」の表示を上になさってください。

4. フロントパネルの取付け ※本図は両柱セットの絵になります。

4-1 連結金具Aの取付け



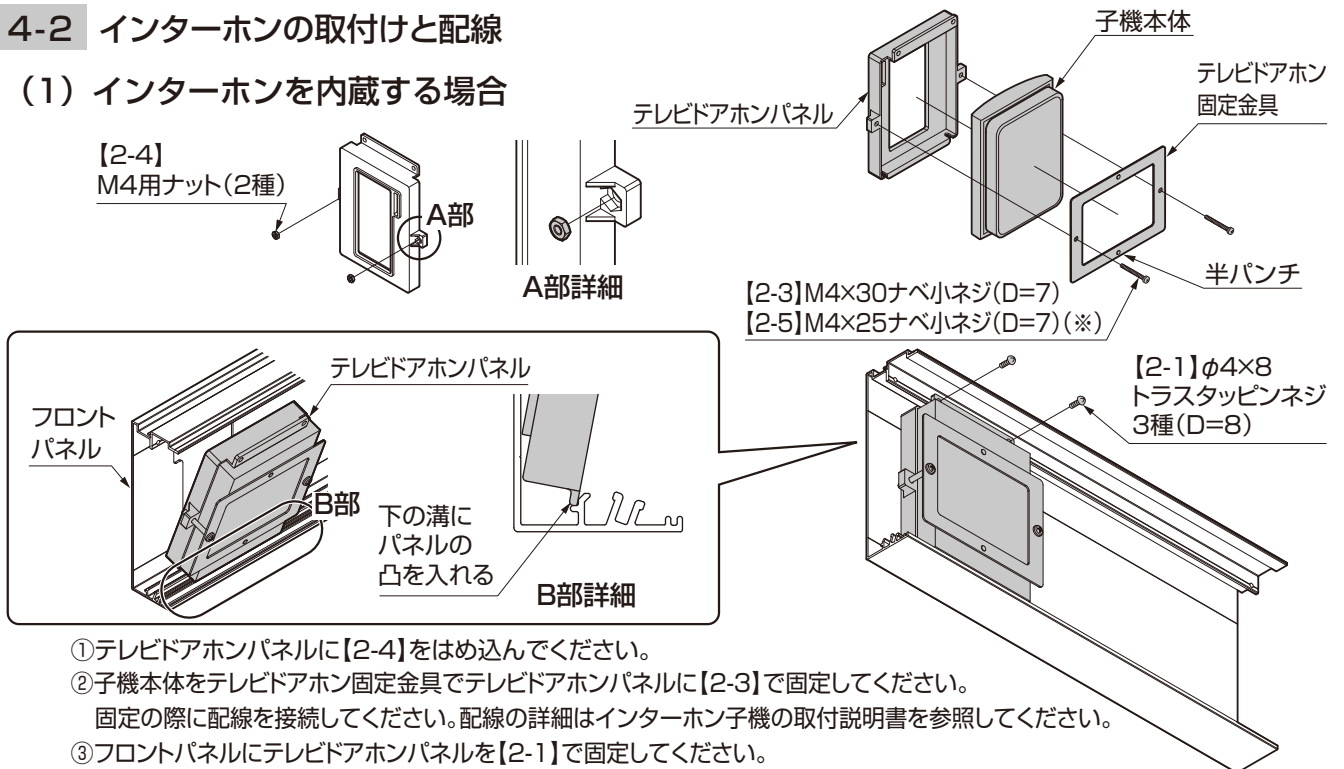
- ①連結金具Aを【2-1】でポールR、ポールLにそれぞれ取付けてください。

補足

- 門柱仕様の場合、勝手に応じてポールL/Rの代わりに吊元門柱、または受け門柱を取付けてください。

4-2 インターホンの取付けと配線

(1) インターホンを内蔵する場合



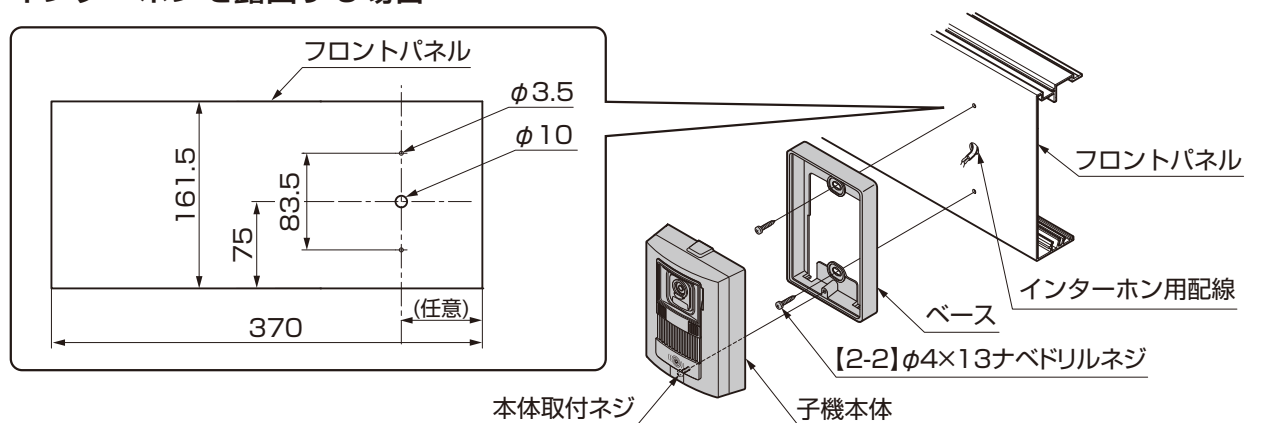
ポイント

- 子機本体の厚みが35mm以下の場合、【2-5】で固定してください。(※)

補足

- 半パンチを子機本体背面の穴に合わせると固定しやすいです。

(2) インターホンを露出する場合



ポイント

- インターホン取付けの前にカメラ位置を調整してください。

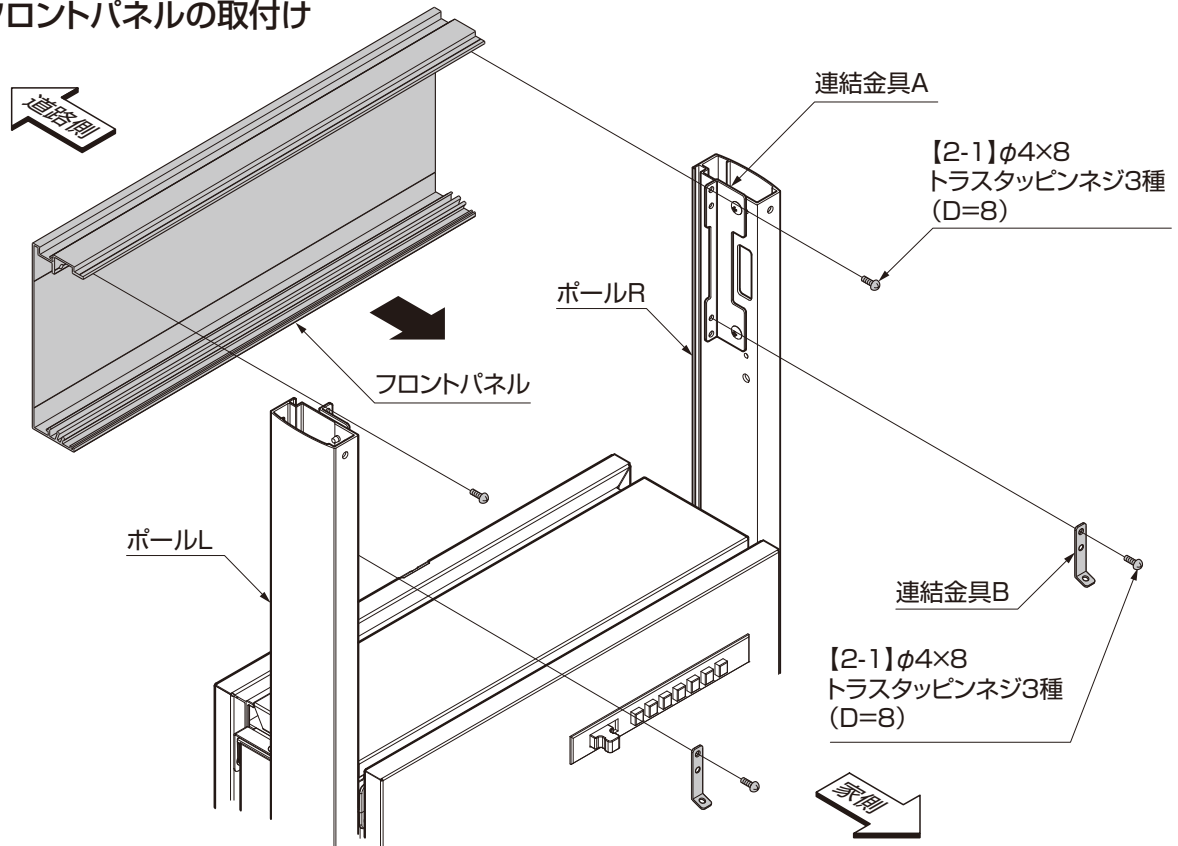
- ② ベースをフロントパネルに【2-2】で固定してください。
 固定の際に配線を接続してください。配線の詳細はインターホン子機の取付説明書を参照してください。

補足

- 本体色がナチュラルシルバー、ホワイトの時はブロンズ色、本体色がブラックの時は白色のネジを使用してください。

4. フロントパネルの取付け(つづき)

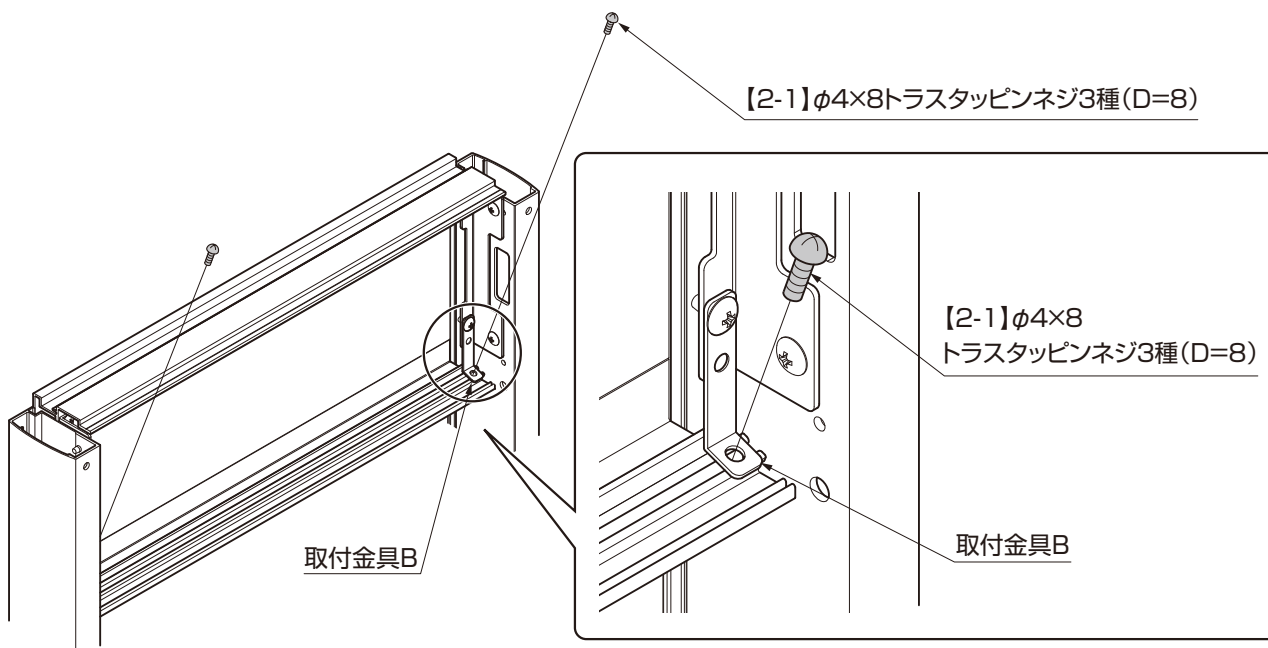
4-3 フロントパネルの取付け



- ① 連結金具Aに連結金具Bを【2-1】で固定してください。
- ② 連結金具Aとフロントパネルを【2-1】で固定してください。

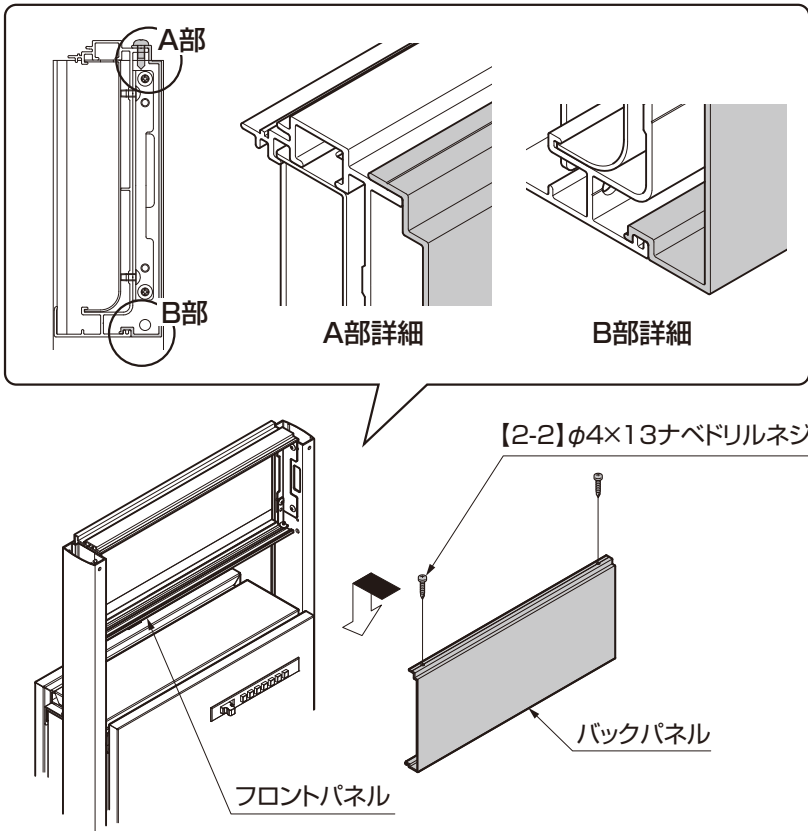
補足

- 面付けサインを取付ける場合、「7.面付けサインの取付け」を参照し先に取付けてください。



- ③ フロントパネルを連結金具Bに【2-1】で固定してください。

5. バックパネルの取付け



- ①フロントパネルにバックパネルをひっかけ、
【2-2】で固定してください。

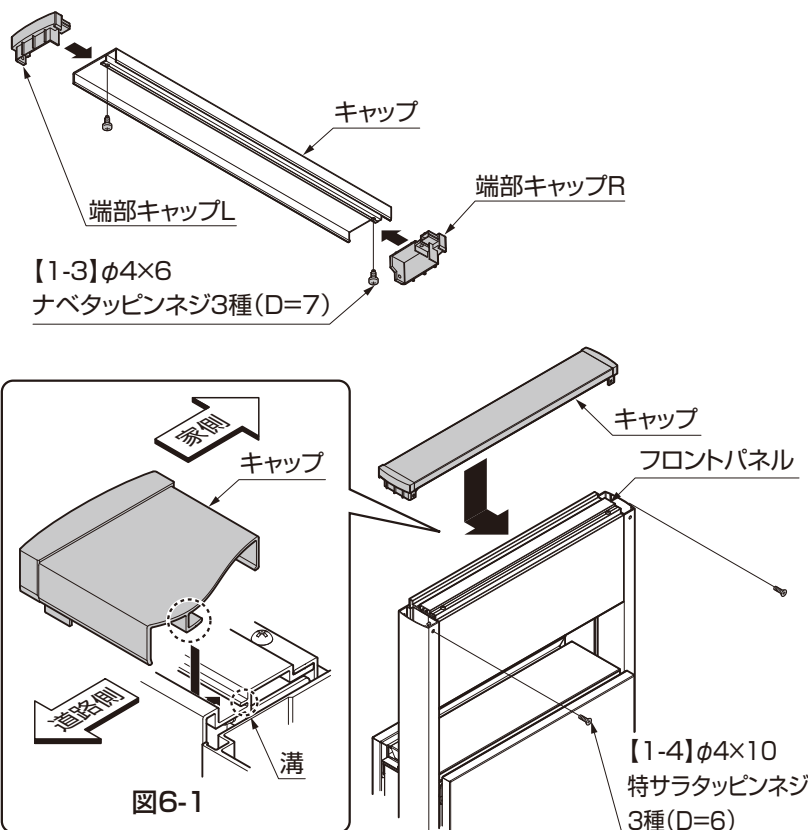
ポイント

- フロントパネルのV溝の位置に固定してください。

補足

- 本体色がナチュラルシルバーF、ホワイトの時は白色、本体色がブラックの時はブロンズ色のネジを使用してください。

6. キャップの取付け ※本図は両柱セットの取付けを示します。



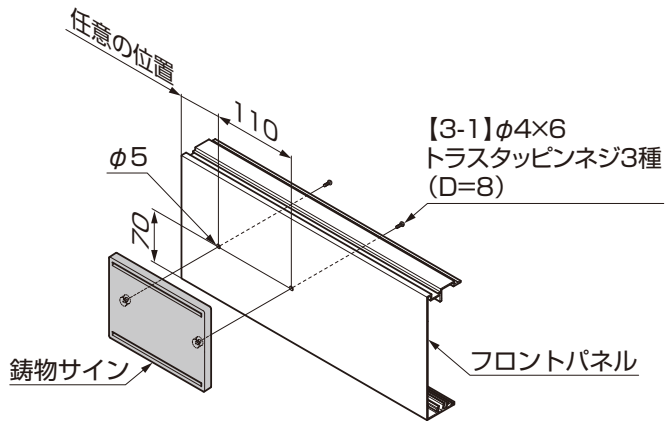
- ①キャップと端部キャップを【1-3】で固定してください。
②キャップをフロントパネルの溝にスライドしポールとキャップを【1-4】で固定してください。(図6-1参照)

補足

- キャップは下に押し付けるようにスライドするとフロントパネルに入りやすいです。
- 本体色がナチュラルシルバーF、ホワイトの時は白色、本体色がブラックの時はブロンズ色のネジを使用してください。

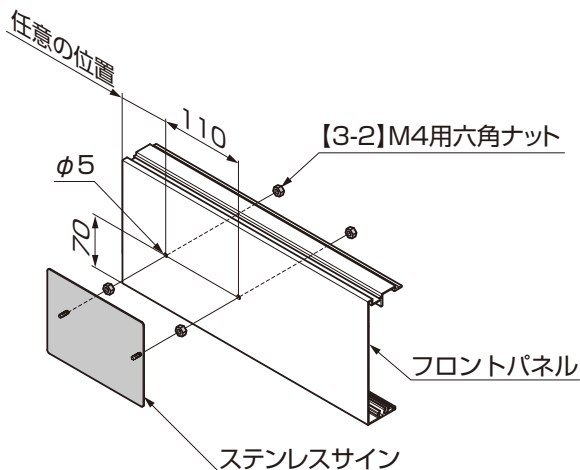
7. 面付けサインの取付け **オプション**

7-1 鋳物サインの取付け



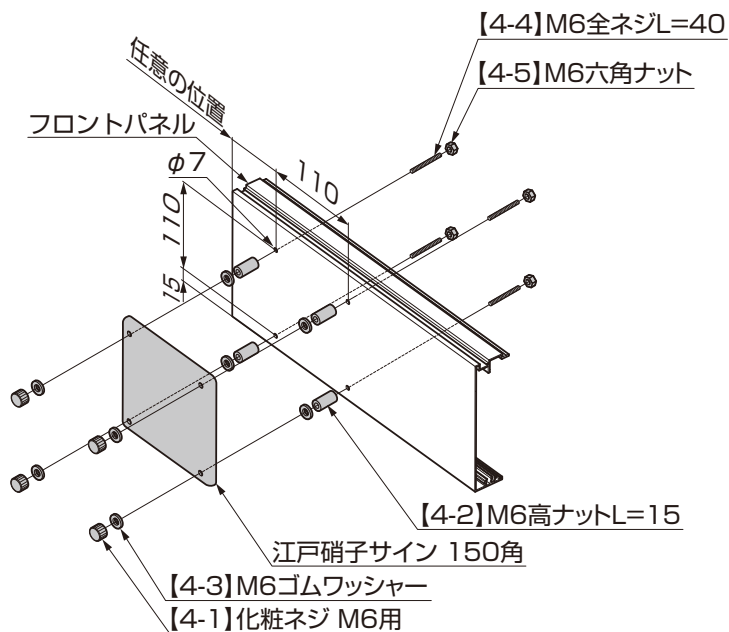
- ①図の位置に取付け穴を開けてください。
- ②フロントパネルに鋳物サインを【3-1】で固定してください。

7-2 ステンレスサインの取付け



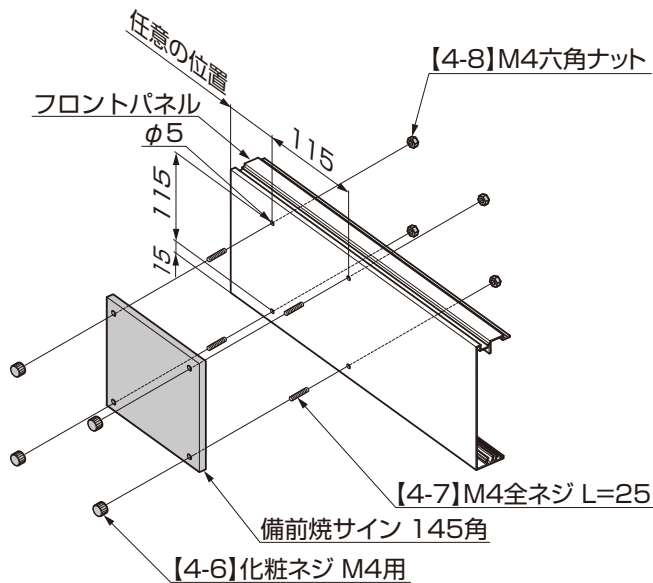
- ①図の位置に取付け穴を開けてください。
- ②フロントパネルにステンレスサインを【3-2】で固定してください。

7-3 江戸硝子サインの取付け



- ①図の位置に取付け穴を開けてください。
- ②図に従い、フロントパネルに江戸硝子サインを【4-1】、【4-2】、【4-3】、【4-4】、【4-5】で固定してください。

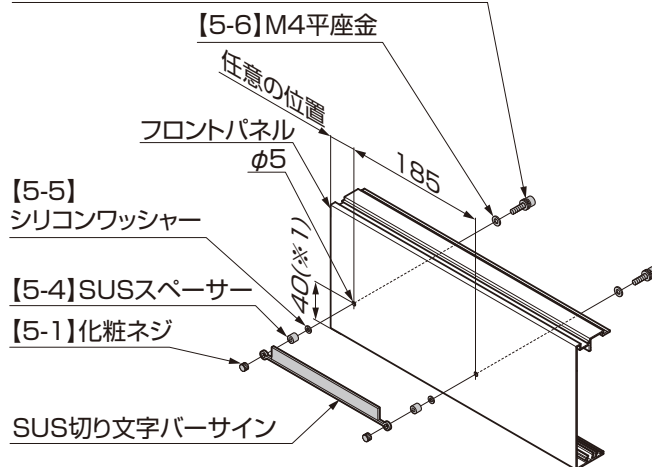
7-4 備前焼サインの取付け



- ① 図の位置に取付け穴を開けてください。
- ② 図に従い、フロントパネルに備前焼サインを【4-6】、【4-7】、【4-8】で固定してください。

7-5 SUS切り文字バーサインの取付け

【5-2】φ4×16ナベ小ネジ(D=7)(SW+PW)

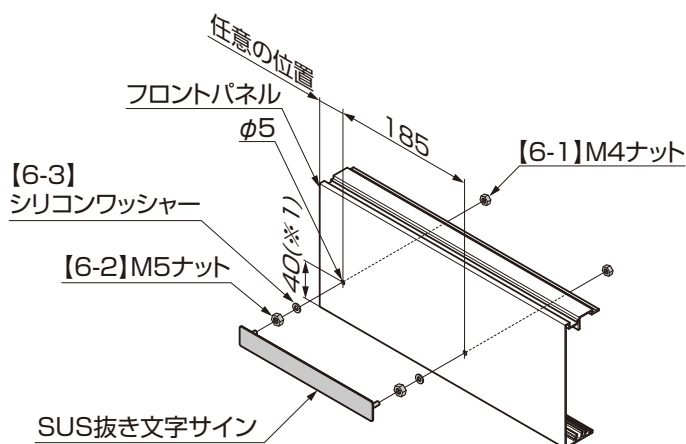


- ① 図の位置に取付け穴を開けてください。
- ② 図に従い、フロントパネルにSUS切り文字バーサインを【5-1】、【5-2】、【5-4】、【5-5】、【5-6】で固定してください。

補足

- LPK-8型を取付けるときの推奨位置は40mm(※1)になります。取付けない場合は任意の位置に取付けてください。

7-6 SUS抜き文字サインの取付け



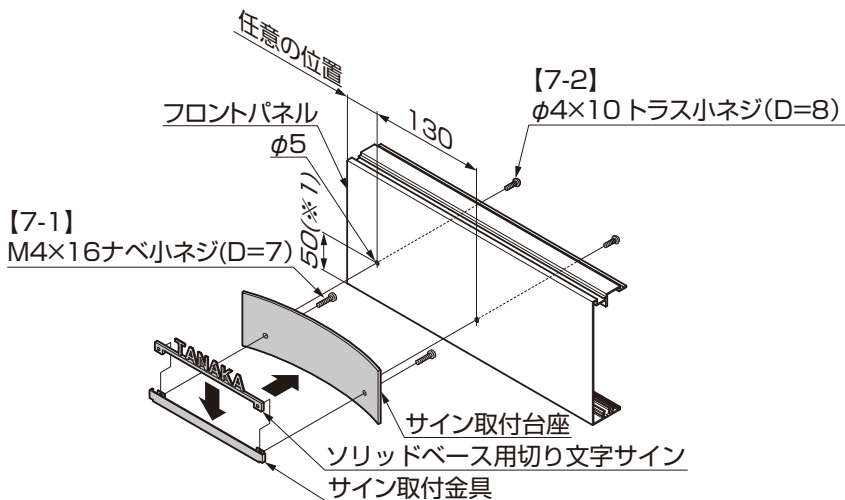
- ① 図の位置に取付け穴を開けてください。
- ② 図に従い、フロントパネルにSUS抜き文字サインを【6-1】、【6-2】、【6-3】で固定してください。

補足

- LPK-8型を取付けるときの推奨位置は40mm(※1)になります。取付けない場合は任意の位置に取付けてください。

7. 面付けサインの取付け(つづき) **オプション**

7-7 SUS切り文字ベースサインの取付け

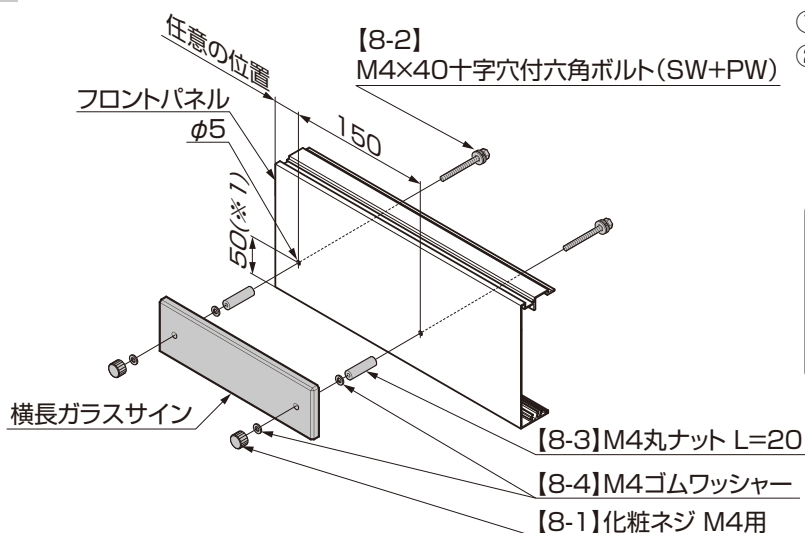


- ①図の位置に取付穴を開けてください。
- ②SUS切り文字ベースのサインの取付けはサイン付属の取付説明書(A574)を参照ください。
- ③図に従い、フロントパネルにサイン取付台座を【7-1】、【7-2】で固定してください。

補足

- LPK-8型を取付けるときの推奨位置は50mm(※)になります。取付けない場合は任意の位置に取付けてください。

7-8 横長ガラスサインの取付け

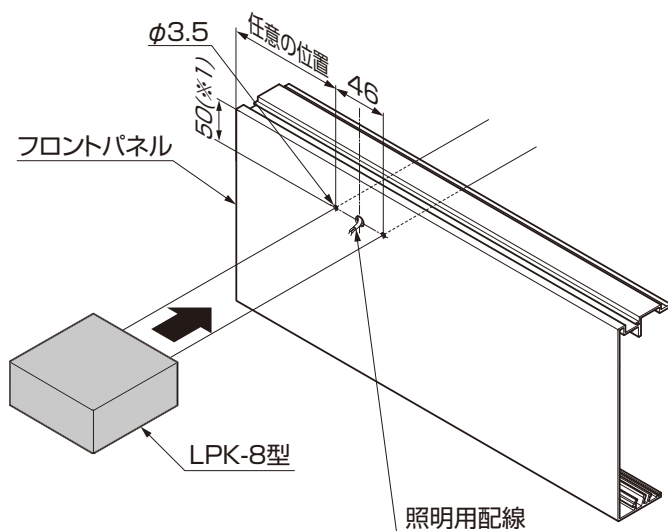


- ①図の位置に取付け穴を開けてください。
- ②図に従い、フロントパネルに横長ガラスサインを【8-1】、【8-2】、【8-3】、【8-4】で固定してください。

補足

- LPK-8型を取付けるときの推奨位置は50mm(※)になります。取付けない場合は任意の位置に取付けてください。

8. LPK-8型の取付け **オプション**



- ①図の位置に配線穴、取付穴を開けてください。
- ②LPK-8型の取付けおよび配線は、LPK-8型に付属の取付説明書(Z425)を参照してください。

ポイント

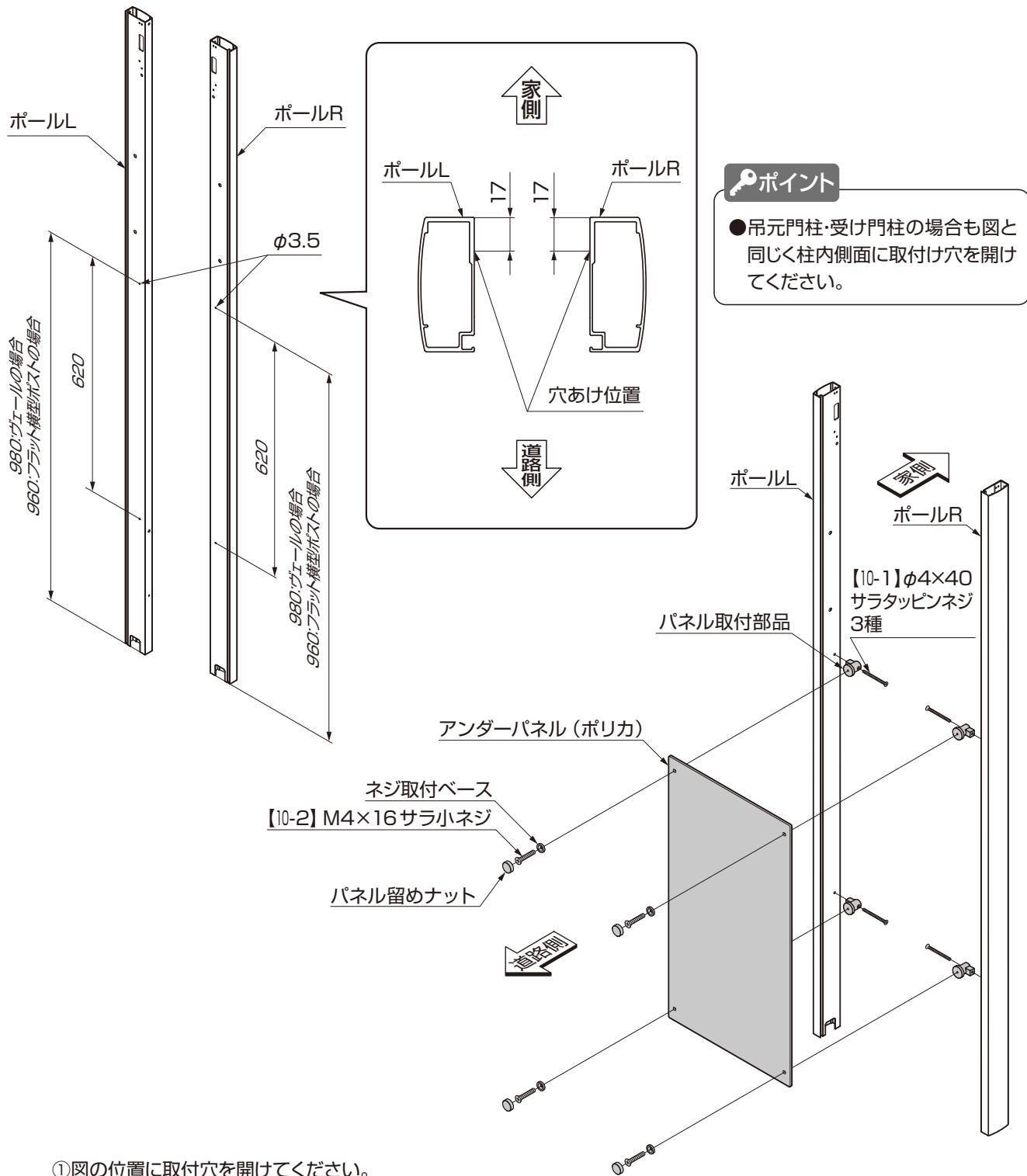
- 照明の取付けの際は電動ドライバーは使用しないでください。

補足

- 取付け推奨位置は50mm(※)になります。

9. アンダーパネルの取付け **オプション**

9-1 パンチング・ポリカの場合



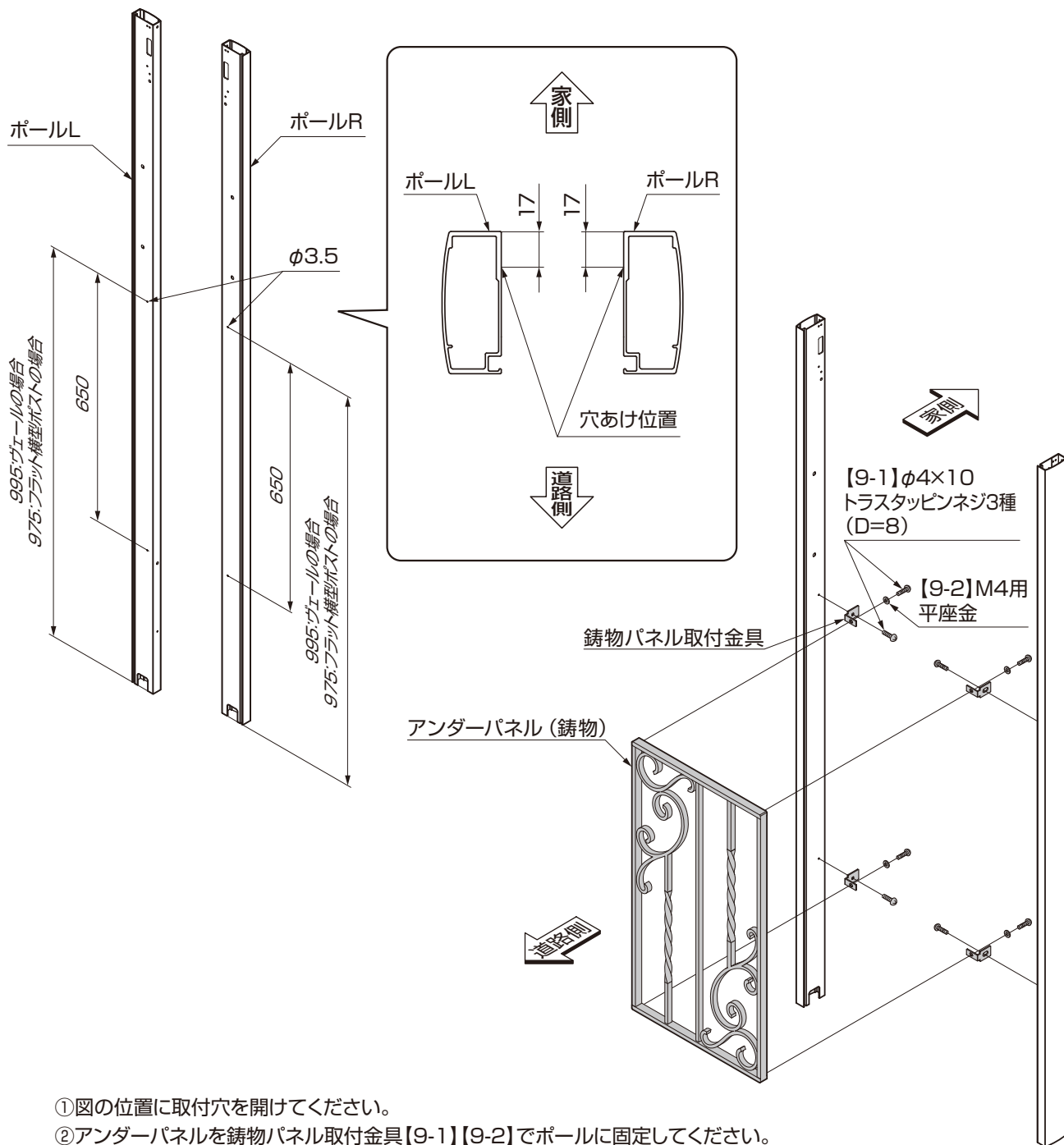
- ① 図の位置に取付穴を開けてください。
- ② パネル取付部品を【10-1】で取付けてください。
- ③ アンダーパネルをネジ取付ベース、パネル留めナット、【10-2】でパネル取付部品に固定してください。

補足

- アンダーパネル(ポリカ)は取付前に養生フィルムをはがしてください。

9. アンダーパネルの取付け(つづき) **オプション**

9-2 鋳物の場合



10. 門柱仕様の取付け

※ファンクションユニット部以外の調整金具や吊元門柱の取付けについては別紙の取付説明書参照してください。

取説コード

A562

JZZ623532B
201301A_1041
201607C_1048